

<http://www.namiki-masatoshi.com/>

討議資料

なみき

# 並木まさとし

37号



ナイスショット通信 37号

46歳

発行者 埼玉県議会議員 並木正年 〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町3-2-19-B  
TEL 048-541-7777 FAX 048-543-8000 MAIL namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp

埼玉県は北陸新幹線や圏央道の開通により物流量の増加や企業進出など成長を続けており、直近10年間の企業本社転入超過数は927社で全国一となっています。また、人口増加率は沖縄県・東京都に続いて全国3番目であり、自然災害等も少なく、都市部と田園地域が共存しながらも豊かな自然を有しているため都内からの流入人口が増加しています。

一方で、平均年齢の若い県ですが、団塊の世代が多く、高齢化の伸び率が全国一であり、医療費の削減と健康保持のため様々な事業を展開しています。また、地域包括ケア事業に対しては都市部と農村部で就業形態や高齢化率・生産年齢人口も異なるため、モデルの構築を各自治体は急ピッチで進めていますので、本市においても地域の実情に合った施策を構築できるよう取り組んで参ります。

鴻巣市では少子高齢社会の中、住宅取得補助・結婚新生活支援補助・18歳以下の子供を3人以上養育している世帯の医療費無料化など、子育て支援や定住促進を図っています。

人口は平成22年の121,084人のピーク以来、年々減少しており、平成28年はマイナス0.09%で109人の減少となりました。第6次総合振興計画では平成38年の将来人口は112,700人を目標としていますので、定住と共に移住をしていただくような情報発信に努めていきたいと思っております。

## 鴻巣市内にオオハクチョウの親子が初飛来！

オオハクチョウは3,000kmも日本から離れた北緯50度以上のシベリアから何度も中継地で休みながら日本へ約2週間をかけて渡ってきます。飛来コースは、カムチャツカ半島から千島列島を経て北海道へ渡るコースと、サハリンを経て北海道へ渡るコースがあるようです。



羽を広げると2.4m



冬水田んぼの造成



初日の出



白い親鳥2羽と幼鳥6羽

申年から酉年へと変わろうとしている12月の夕方、市内の冬水田んぼに8羽のオオハクチョウの親子が飛来しました。真っ白で風格のある親鳥と体の大きさはほとんど変わりませんが一目で子供と分かるグレーの幼鳥。

ハクチョウは家族が何時も一緒に行動し、人や車が近づくと親鳥が頭を高く上げて幼鳥に警戒の合図を出している様子がうかがえます。コウトリを迎えるために関係者が積極的に取り組んでいる冬水田んぼに突然飛来したオオハクチョウですが、近い将来にはコウトリの家族も飛来して欲しいと願います。

# 鴻巣市内 全ての県営住宅の水銀灯「LED化」を進めます！

平成28年4月1日現在、埼玉県では県営住宅314団地(27,033戸)を管理しており、空き室は1,823戸(6.8%)となっています。申し込み応募倍率は「県南・県央地域」で4.8倍、「県北・秩父地域」で0.6倍です。子育て支援の取り組みとして、18歳未満の子供がいる世帯を対象に「子育て支援住宅」として独自の応募枠を設定しており、子育て世帯・母子・父子世帯・多子世帯については応募抽選にあたり、当選確率を高くする優先的な取り組みをおこなっています。

また、既存団地の建て替えに併せてエレベーターの設置を予定しており、エレベーターのない既存団地については段階的に設置の検討をしています。

今回のLED化は環境への配慮・電気代の削減・防犯対策のため市内全県営団地の水銀灯をLEDに交換する予算を確保することができました。\*3月末までに交換予定

今後はエレベーターの設置や階段等、共用部分のLED化についても取り組んでいきます。



LED対象住宅	水銀灯の本数
鴻巣 登戸住宅	24本
鴻巣 箕田住宅	17本
鴻巣 人形町住宅	8本
鴻巣 八幡田住宅	6本
鴻巣 宮地住宅	4本
川里 広田住宅	8本
計	67本

子育て支援住宅 (期限10年)	6,632戸	24,5%
一般住宅 (期限10年)	13,631戸	50,4%
その他の住宅 (期限なし)	6,770戸	25,0%
計	27,033戸	100%



## \*一般住宅とは？

築25年以上 バリアフリー等未整備

## \*その他の住宅とは？

高齢者・障がい者・単身世帯  
バリアフリー整備済み

水銀灯のLED化に伴い電気使用量の削減効果は約82%になり、削減金額を1か月の電気料金で試算した結果、年額約190,000円から約35,000円になり、約155,000円の削減となります。(登戸住宅の場合)

## 危機管理・大規模災害対策



CH-47J 輸送ヘリ



6トン水槽バケツ

入間基地は国内最大級の航空自衛隊基地で、災害派遣として地震・火山噴火・山林火災・航空機事故・山岳等の遭難者の捜索救助を行っています。また、首都圏近傍という地理的優位性から物資輸送の中核基地に位置づけられています。

\*入間基地の90%以上は狭山市に所在しています。

県政報告会・懇親会のご案内 2月18日(土)

5時受付 5時30分開会 市民活動センター 会費3,000円

お問い合わせは並木まさし事務所 541-7777

## プロフィール

昭和45年(1970)鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防団第2分団員(20年目)/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市議会議員2期/平成27年埼玉県議会議員初当選/警察危機管理防災委員/危機管理・大規模災害対策特別委員/家族/妻・長女(大学生)・長男(中学生)・愛犬レオ